

「毛馬内の盆踊」 通常開催

「毛馬内の盆踊」の起源は、文献資料から少なくとも江戸中期には行われていたことが確認されています。秋田県三大盆踊りの一つに数えられており、大太鼓と笛の囃子で踊る「大の坂」と、唄のみで踊る「甚句」の二つで構成されています。

毛馬内の盆踊りは、踊り手の衣装が特徴的です。男性は紋付等の着物に水色のケダシ、女性は留袖や訪問着等とき色のケダシ、男女とも手拭い（豆しぼり）で頬被りをします。着物をはしより、帯下に黄色のシゴキを巻くのも特徴です。頬被りをするのはこの地域が藩境で争いが多く、婦女の略奪等を避けるために変装をした名残りと言われています。



— お知らせ —

今年は、盆踊り期間中のうち、22日・23日の2日間を午後6時30分まで時間を延長して開館します。

また、8月中の館内はちょっとした、お祭り気分を味わえます。「毛馬内の盆踊」の衣装の展示も行っています。



暑い日が続いていますね。ただジツとしていても汗が出ます。私は汗拭きに手ぬぐいを愛用しています。これは最近お気に入りです。



さて、この時期は熱中症・熱射病が心配です。室内にいても熱中症になる可能性があります。暑いと感じたら、我慢せずにエアコンを使いましょう。あとはバランスの良い食事と十分な睡眠ですね。自分に優しく、心地よく過ごしましょう。

―月山神社祭典―

7月12日・13日には毛馬内でお祭りが開催されました。神輿の巡行があり、先人顕彰館の前も天狗さんが、通りました。一本足の下駄を履いていて、意外と早足で驚きました。

天狗さんと目があった瞬間♪

